

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則の一部を改正する省令案

1. 狩猟鳥獣(鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第3条関係)

科 名	種 名
動物界 一 鳥綱 (一) きじ目	
きじ科	<i>Tetrastes bonasia</i> (エゾライチョウ) <i>Syrnaticus soemmerringii</i> (ヤマドリ) (<i>Syrnaticus soemmerringii ijimae</i> (亜種コシジロヤマドリ) を除く。) <i>Phasianus colchicus</i> (キジ) <i>Bambusicola thoracicus thoracicus</i> (コジュケイ)
(二) かも目	
かも科	<i>Anas falcata</i> (ヨシガモ) <i>Anas penelope</i> (ヒドリガモ) <i>Anas platyrhynchos</i> (マガモ) <i>Anas zonorhyncha</i> (カルガモ) <i>Anas clypeata</i> (ハシビロガモ) <i>Anas acuta</i> (オナガガモ) <i>Anas crecca</i> (コガモ) <i>Aythya ferina</i> (ホシハジロ) <i>Aythya fuligula</i> (キンクロハジロ) <i>Aythya marila</i> (スズガモ) <i>Melanitta americana</i> (クロガモ)
(三) はと目	
はと科	<i>Streptopelia orientalis</i> (キジバト)
(四) かつおどり目	
う科	<i>Phalacrocorax carbo</i> (カワウ)
(五) ちどり目	
しぎ科	<i>Scolopax rusticola</i> (ヤマシギ) <i>Gallinago gallinago</i> (タシギ)
(六) すずめ目	
からす科	<i>Corvus frugilegus</i> (ミヤマガラス) <i>Corvus corone</i> (ハシボソガラス) <i>Corvus macrorhynchos</i> (ハシブトガラス)
ひよどり科	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (ヒヨドリ)

むくどり科	<i>Spodiopsar cineraceus</i> (ムクドリ)
すずめ科	<i>Passer rutilans</i> (ニュウナイスズメ) <i>Passer montanus</i> (スズメ)
二 哺乳綱	
(一) ねこ目	
いぬ科	<i>Nyctereutes procyonoides</i> (タヌキ) <i>Vulpes vulpes</i> (キツネ) <i>Canis familiaris</i> (ノイヌ)
ねこ科	<i>Felis catus</i> (ノネコ)
いたち科	<i>Martes melampus</i> (テン) (<i>Martes melampus tsuensis</i> (亜種ツシマテン)を除く。) <i>Mustela itatsi</i> (イタチ) (オスに限る。) <i>Mustela sibirica</i> (シベリアイタチ) (長崎県対馬市の個体群以外の個体群) <i>Neovison vison</i> (ミンク) <i>Meles anakuma</i> (アナグマ)
あらいぐま科	<i>Procyon lotor</i> (アライグマ)
くま科	<i>Ursus arctos</i> (ヒグマ) <i>Ursus thibetanus</i> (ツキノワグマ)
じゃこうねこ科	<i>Paguma larvata</i> (ハクビシン)
(二) うし目	
いのしし科	<i>Sus scrofa</i> (イノシシ)
しか科	<i>Cervus nippon</i> (ニホンジカ)
(三) ねずみ目	
りす科	<i>Callosciurus erythraeus</i> (タイワンリス) <i>Tamias sibiricus</i> (シマリス)
ヌートリア科	<i>Myocastor coypus</i> (ヌートリア)
(四) うさぎ目	
うさぎ科	<i>Lepus timidus</i> (ユキウサギ) <i>Lepus brachyurus</i> (ノウサギ)
備考 括弧内に記載する呼称は、学名に相当する和名その他の名称である。	

2. 対象狩猟鳥獣の捕獲等をする期間（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第9条関係）

環境大臣が定める捕獲等をする期間は、次の表の左欄に掲げる区域ごとに、それぞれ同表の右欄に定める期間とする。

区域	狩猟鳥獣の捕獲等をする期間
北海道以外の区域	毎年十一月十五日から翌年二月十五日まで (猟区の区域内においては、毎年十月十五日から翌年三月十五日まで)
北海道	毎年十月一日から翌年一月三十一日まで (猟区の区域内においては、毎年九月十五日から翌年二月末日まで)

3. 対象狩猟鳥獣の捕獲等の禁止（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第10条第1項関係）

環境大臣が禁止する捕獲等は、次の表の左欄に掲げる対象狩猟鳥獣ごとに、それぞれ同表の中欄に掲げる区域内及び同表の右欄に掲げる期間内において行う捕獲等とする。

対象狩猟鳥獣	捕獲等を禁止する区域	捕獲等を禁止する期間
<i>Syrmaticus soemmerringii</i> （ヤマドリ）（ <i>Syrmaticus soemmerringii ijimae</i> （亜種コシジロヤマドリ）を除く。以下この条において同じ。）の雌及び <i>Phasianus colchicus</i> （キジ）の雌（ <i>Phasianus colchicus karpowi</i> （亜種コウライキジ））を除く。）	全国の区域（ <i>Syrmaticus soemmerringii</i> （ヤマドリ）の雌にあっては放鳥獣をされた <i>Syrmaticus soemmerringii</i> （ヤマドリ）の雌の捕獲を目的に含む放鳥獣猟区の区域を除き、 <i>Phasianus colchicus</i> （キジ）の雌にあっては放鳥獣をされた <i>Phasianus colchicus</i> （キジ）の雌の捕獲を目的に含む放鳥獣猟区の区域を除く。）	令和四年九月十五日から令和九年九月十四日まで
<i>Hypsipetes amaurotis</i> （ヒヨドリ）	東京都小笠原村、鹿児島県奄美市及び大島郡並びに沖縄県の区域	令和四年九月十五日から令和九年九月十四日まで
<i>Ursus thibetanus</i> （ツキノワグマ）	三重県、奈良県、和歌山県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県の区域	令和四年九月十五日から令和九年九月十四日まで
<i>Tamias sibiricus</i> （シマリス）	北海道の区域	令和四年九月十五日から令和九年九月十四日まで

4. 対象狩猟鳥獣の捕獲等の制限（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第10条第2項関係）

環境大臣が制限する捕獲等の数の一日当たりの上限は、猟区の区域外において、次の表の左欄に掲げる対象狩猟鳥獣ごとに、それぞれ同表の右欄に掲げる和数又は頭数とする。

対象狩猟鳥獣	羽数又は頭数
<i>Tetrastes bonasia</i> (エゾライチョウ)	二羽
<i>Syrmaticus soemmerringii</i> (ヤマドリ) 及び <i>Phasianus colchicus</i> (キジ)	合計して二羽
<i>Bambusicola thoracicus thoracicus</i> (コジュケイ)	五羽
<i>Anas falcata</i> (ヨシガモ)、 <i>Anas penelope</i> (ヒドリガモ)、 <i>Anas platyrhynchos</i> (マガモ)、 <i>Anas zonorhyncha</i> (カルガモ)、 <i>Anas clypeata</i> (ハシビロガモ)、 <i>Anas acuta</i> (オナガガモ)、 <i>Anas crecca</i> (コガモ)、 <i>Aythya ferina</i> (ホシハジロ)、 <i>Aythya fuligula</i> (キンクロハジロ)、 <i>Aythya marila</i> (スズガモ) 及び <i>Melanitta americana</i> (クロガモ)	合計して五羽（ただし、網を使用する場合にあっては、法第十一条第二項に基づき環境大臣の定める狩猟鳥獣の捕獲等をする期間ごとに合計して二百羽）
<i>Streptopelia orientalis</i> (キジバト)	十羽
<i>Scolopax rusticola</i> (ヤマシギ) 及び <i>Gallinago gallinago</i> (タシギ)	合計して五羽